

発行所: 株式会社帝国データバンク

横浜支店 〒231-0007 横浜市中区弁天通4-51

TEL:045-641-0232(代)

厚木支店 〒243-0018 厚木市中町3-15-4

TEL:046-222-7766(代)

(本社) 〒107-8680 東京都港区南青山2-5-20

TEL:03-5775-3000(大代表) URL:http://www.tdb.co.jp

購読料: 1年間50,000円(本体価格) 複写転載厳禁 ©TEIKOKU DATABANK,LTD.

TDB TEIKOKU NEWS *mon/thu*

帝国ニュース 神奈川県版

NO.3020 2019

11/21
thu.

page

01

最新ニュースはここにアクセス

<http://www.tdb-news.com>

CONTENTS

03—特別企画 県内「連続増収増益企業」調査(2017・18年度決算)
2018年度「連続増収増益企業」、1691社
愛知県に次いで全国4位
～業種別では「建設業」が601社でトップ～

06—神奈川県内企業 業種別分析
第62回 その他の建築材料卸売業

08—かながわ 上場企業ウォッチ

09—企業スポット
伊都研究所
～銀のナノ粒子に光をあてる

10—Happy Birthday
Dear Companies in Kanagawa

11—県内高収益企業

12—TOPICS 神奈川県
[[横浜] 統合型リゾート産業展
《開催発表・説明会》] 開催

13—県内新設会社情報

14—scope&focus
島根銀行
～SBIホールディングスとの提携で業績回復なるか

15—倒産・動向記事

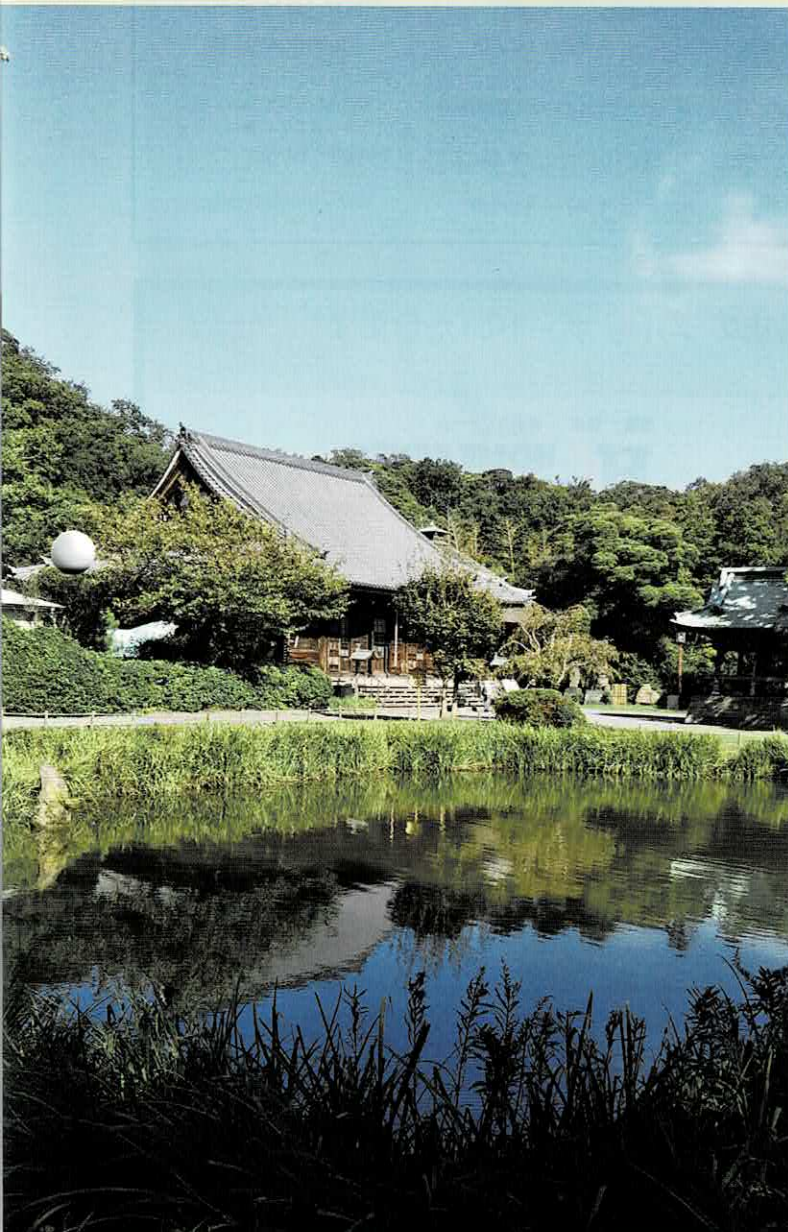
日本化工機工業
[大正10年創業、洗浄装置製造販売] (相模原)

カラース [ペットサロン・ホテル経営] (横浜)

続報 Meat Plant [食肉卸] (平塚)

主な債権者判明(その1)
続報 ヒロセ電子システム
[医療機器製造、販売] (東京)

16—【週間】ビジネス書ランキング 有隣堂調べ
2019年11月10日(日)～2019年11月16日(土)



金沢山称名寺(横浜市金沢区)

企 業 ス ポ ッ ト

(株)伊都研究所

銀のナノ粒子に光をあてる

【TDB企業コード：657018450】 法人番号：5021001058896

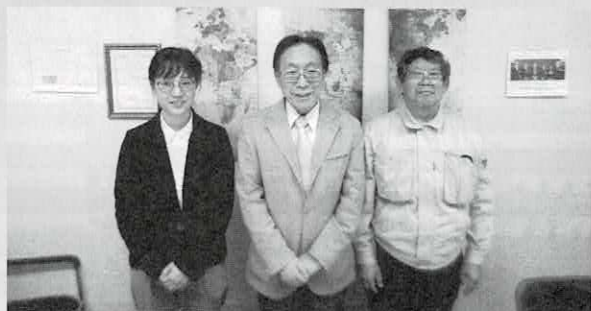
(株)伊都研究所は、銀のナノ粒子を含むインク状の液体・ペースト「ナノインク」を開発し、その応用製品を製造している。また、粒子サイズの波長の光を吸収するプレート状の銀ナノ粒子を半導体に加工して出す色々な光をエレクトロニクス(太陽電池/光コンデンサ)に利用できることを発見し、特許を取得している。消臭・抗菌・遮熱作用が永続する銀ナノ粒子を使ったテクノロジーはエレクトロニクスのみならず、医療衛生(病院・介護施設内の抗菌、消臭)、救急医療(体外診断薬)、建材(遮熱塗料、抗菌水回り)などの分野に応用できる。

当社は、2016年3月に設立後、国からの補助金を得て慶大の研究プロジェクトに参加しつつ人畜無害で病原菌・ウイルスを死滅させる銀ナノと電磁波を使う技術を開発した。畜産や農業、食品業界に打撃を与え、土壤汚染や家畜の殺処分が社会問題となった鳥インフルエンザや豚インフルエンザ、人間に感染するインフルエンザウイルスも一瞬で検知するセンサーの実用化を目指している。

今回は、ソニーの技術者から九州大学特任教授を経て起業、工学博士でもある伊東謙吾CEOに、慶應義塾先端科学技術センターとともに開発中の「ウイルスセンサー」について聞いた。

一画期的なウイルスセンサー開発までの道のり

伊東CEO「銀を使った新しい抗菌材料の研究を始めて10年経ちます。当初は農業、水産、林業に役立ち、人体に入れても問題ない安全性を担保できるものをと研究を進めていました。ヒントを電子レンジに使われるマイクロ波に求め、プラズモンの電磁波的応用を模索した処、電極間のウイルス状物質の有無による電流変化が解析的に認められるようになったのです。いくつかあった技術的ハードルを乗り越えられたのは、ソニー在職時に培った電磁気、半導体に



慶大と九大の2つの研究拠点をもつ

についての知見です。化学知識だけではこの発想はなかったと思います。最初はO157などの大腸菌、黄色ブドウ球菌、その他薬剤耐性菌から出る毒素などで検証試験をしていましたが、インフルエンザウイルスにも殺菌効果があり、人体や動物には影響が無いことはそれまでの研究でわかっていました。起業後、内閣府から予算をもらうようになってインフルエンザウイルスにも効きそうなので検証をしてみたいと打診したところ、政府関係の機関からも関心が得られることになりました。これによりこの技術が脚光を浴びるようになったのです。インフルエンザは感染初期も初期、かなり早い段階で投薬しないと効き目がありません。現在のインフルエンザ検査は体中にウイルスが増えるまで待たないと検出できないのです」。



インフルエンザの検出・対策に適用する銀ナノ粒子応用製品を開発した伊東謙吾代表(CEO)

一産学ベンチャーからスタートアップ企業に「将来的にはスマホの中にマイクロ検知・分析装置を組み込んで、話しかける(息をかける)だけで瞬時にウイルスが検出できるようになると思います。鳥・豚インフルなどの社会問題の解決につながるでしょう」(伊東CEO)。

銀の特性をテクノロジーで表出させる原理と技術を見いだし、用途開発で製品化の目処も立った当社にはメガバンクが株式の上場を打診している。国、ベンチャーキャピタル、金融機関が注目する当社は、スタートアップ企業予備軍と言えらるだろう。

株式会社伊都研究所
 本 社 藤沢市大鋸3-3-7
 研 究 所 川崎市幸区新川崎7-7 AIRBIC A03
 代 表 者 伊東 謙吾 氏
 電 話 番 号 044-580-1430
 設 立 2016年(平成28年)3月
 営 業 種 目 銀ナノ粒子の研究及び設計・開発・販売、先端技術コンサルティング